

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
花の輪・人の輪ひろげよう事業		東区ふれあい事業実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	H26	H27	H28
区民間のコミュニティの輪を広げることにより、明るく住みよい安全なまちづくりの推進の一助とする。緑化意識の向上を図るとともに区民相互の親睦・連帯の推進を図る。	花の育成を行い、東区内の施設(区役所・郵便局など)に展示を行うことで広く区民に緑に触れてもらい、緑化意識の向上を図るとともに区民相互の親睦やつながりを促進する。 また、区民間のコミュニティの輪を広げることにより、明るく住みよい安全なまちづくりの推進の一助とする。	プランター設置箇所数	4箇所	21箇所	13箇所
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 東区内の施設(区役所、郵便局、学校園など)をはじめ、多くの区民に楽しんでもらうことで、区民のつながりや交流を深められ、妥当である。	○ 花の選定から花の育成に至るまで、地域の方と行政がそれぞれの役割で協働し、実施しているものであり、協働の視点に立った事業であるといえる。	○ 緑に囲まれた自然環境を有する東区独自の事業でインパクトがある。また、対象が「花」であり、広報やホームページへの写真の掲示等も効果的である。	△	花の選定から花の育成に至るまで、地域の方が中心となって実施しているものであり、地域の方の費用と労力の負担が大きくなっている。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 花の育成を地域の方が担い、広報・調整等を行政が実施している。それぞれの強みを生かした事業となっているが、事業に係る業務全般を地域が担うことは困難である。	○	プランターを用い東区内の施設(区役所・郵便局など)に展示を行うことで広く区民に緑に触れてもらうことが可能であり、緑化意識の向上・区民間のコミュニティの輪を広げることによる、明るく住みよい安全なまちづくりの推進の一助に寄与しているといえる。			
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	同事業は平成12年度から実施しており、事業形態は変容しているものの約17年間、地域の方と協働で実施している。事業開始当初は、花畑を開放し、多くの方に花摘みや鑑賞を体験していただき、直接花に触れていただける機会を提供し、14年間で多くの区民に訪れていただいた。また平成26年度からは、事業の見直しを行い、より多くの方が生活の中で緑に触れていただけるように公共施設に展示を行った。事業の見直しを行いながら、実施17年目が終了し、区民の緑化意識の向上に寄与したと考えている。				